

# しすい

編集・発行/酒々井町議会

〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171

<http://www.town.shisui.chiba.jp/contents/gikai/>



おお  
大ちゃん学童クラブ  
オープン

## 12月定例会のあらまし

12月定例会は12月4日から9日間の会期で開催されました。  
町長より議案7件、議員より発議案4件が提出され、審議した結果議案7件、発議案3件がそれぞれ原案のとおり可決されました。  
一般質問は12名の議員が、2日間にわたり行いました。

この1月から大室台小学校内において、公設民営による放課後児童クラブ（学童保育）が開設されました。



12月定例会

酒々井町行政組織条例を制定など・・・P2

平成18年度各会計決算を認定・・・P5~P6

町政を問う 議員12名が一般質問・・・P7~P13

限られた職員数で最大の効果を

# 酒々井町行政組織条例を制定



役場中央庁舎 1階フロア

平成19年12月議会で可決された議案は次のとおりです。

◆酒々井町行政組織条例の制定について

地方自治法の改正により、課の設置だけでなくその事務分掌についても定めることになり、現行の「酒々井町課設置条例」を廃止し、組織の見直しを行い、新たに「酒々井町行政組織条例」を制定し、平成20年4月1日から施行するものです。

◆酒々井町一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

国家公務員の給与改定措置に準じ、給料月額、扶養手当及び勤勉手当を改定するものです。給与月額は初任給を中心に若年層に限定し、一部をそれぞれ引き上げるものです。

◆酒々井町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

行政組織の見直しにより、条例中「水道課」を「上下水道課」に改めるものです。

## 一般会計

◆一般会計補正予算(第3号)

補正の主な内容は、人事異動及び給与改定に伴う人件費、障害者自立支援に関する事業費、岩橋保育園保育室の増設に伴う備品購入費、ちびっこ天国管理棟の改修工事費、私立幼稚園就園奨励費補助金、酒々井小学校特別支援学級増設に伴う施設改修をはじめ、各小中学校の整備に係る経費、町体育館耐震診断委託費等、その他特別会計の補正に伴う繰出金などによるものです。

## 特別会計

◆国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

総務管理費、療養諸費、高額療養費、基金積立、償還金及び還付加算金を増額するものです。

◆下水道事業特別会計補正予算(第3号)

給与改定に伴う人件費の補正です。

◆水道事業会計補正予算(第2号)

給与改定、制度改正に伴う人件費の補正です。

議員発議によるもの

◆悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正に関する意見書の提出について

◆日豪EPA/FTA交渉に対する意見書の提出について

◆道路整備に必要な道路特定財源諸税の暫定税率等に関する意見書の提出について

### 平成19年度 補正予算額 (単位：千円)

会計名	補正前	12月補正額	補正後
一般会計	5,140,797	37,832	5,178,629
特別国民健康保険	1,888,972	175,924	2,064,896
会計下水道事業	436,849	177	437,026

### 平成19年度 水道事業会計補正予算額 (単位：千円)

	補正前	12月補正額	補正後
収益的支出	440,501	251	440,752
資本的支出	243,412	62	243,474

議案と議決結果（町長提出のもの）

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果	
1	酒々井町行政組織条例の制定について	総務	原案可決	○
2	酒々井町一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決	◎
3	酒々井町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	経済建設	原案可決	○
4	平成19年度酒々井町一般会計補正予算（第3号）	※	原案可決	◎
5	平成19年度酒々井町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	教育民生	原案可決	◎
6	平成19年度酒々井町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	経済建設	原案可決	◎
7	平成19年度酒々井町水道事業会計補正予算（第2号）	経済建設	原案可決	◎

発議案と議決結果（議員提出のもの）

番号	件名	提出者	本会議の議決結果	
1	悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正に関する意見書の提出について	佐藤 修二 議員 他2名	原案可決	○
2	高齢者の医療負担増と後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書の提出について	地福 美枝子 議員 他4名	原案否決	×
3	日豪EPA/FTA交渉に対する意見書の提出について	平澤 昭敏 議員 他2名	原案可決	○
4	道路整備に必要な道路特定財源諸税の暫定税率等に関する意見書の提出について	平澤 昭敏 議員 他2名	原案可決	○

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。  
 (※)は総務・教育民生・経済建設の各常任委員会に担当分野を付託しています。

請願の審査結果

請願番号	件名	請願者名	付託委員会	本会議の議決結果	
請願第6号	悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正に関する請願書	千葉県弁護士会 会長 山下洋一郎	総務	採択	○
請願第7号	悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正に関する請願書	千葉司法書士会 会長 大川善光 千葉司法書士政治連盟 会長 加瀬皓三	総務	採択	○
請願第8号	悪質商法被害をなくすための割賦販売法改正を求める意見書提出に関する請願書	連合千葉成田・佐倉地域協議会 議長 井上健	総務	採択	○
請願第9号	日豪EPA/FTA交渉に対する請願書	印旛の農業と安全な食料を考える会 会長 高橋正八郎	経済建設	採択	○

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

議案・賛成討論(要旨)

齊藤博議員 議案第2号及び議案第4号に賛成する。  
 財政難のため人件費の削減が続出されている中であって、人事院勧告制度を尊重され実施されることに賛成する。

また、町体育館の耐震診断やちびっこ天国の通年事業の実施に向けた修繕など、来年度以降の本格実施に備えた補正予算措置は、時宜を得たものと考えられる。ただ、ちびっこ天国の修繕は既に4千万程度の予算を費やしており、更に多額の予算を予定していると聞いている。

利用者の安全を確保することが何よりも優先される施設であるので、修繕については遺漏のないよう綿密な修繕計画を策定していただきたい。

当面は基金を取り崩して修繕するしかないと思うが、基金はちびっこ天国の解体費用相当額と聞いており、その整合性の問題は残ると思うので再検討いただきたい。

議案・反対討論(要旨)

引地修一議員 議案第1号及び議案第3号について反対する。  
 行政組織条例の改定であり、この4月に課制を替えたばかりなのに、また替える。

町長の言う経営的な観点から言えば、改定する課の人員は何人なのか。どういう費用的な効果があるのか。どういう行政的な効果があるのかなどを、課制を替える前にきちんと検証しなければならぬと思う。

また、町民にとっても、あれ、また課が替わったのかなど。たとえば建設課がまちづくり課になるが、まちづくりとはどういうまちづくりなのか。建設的なことが入って、何か分りづらく混乱を招きかねない。また、職員も非常に混乱するのではないかと思う。

短絡的に1年もしないうちに課制、行政組織を替えるのは如何なものかと思う。

町長より9件の行政報告がありました。(要旨)

印旛郡町村会による行政視察  
について

岩手県雫石町と滝沢村に行政視察を行いました。

①岩手県雫石町が進めている事業の1点目は、町長を含めた職員が町民の目線に立って行政サービスやまちづくりを考え、「役場や職員が変われば、地域住民の意識が変わる」との考えのもと意識改革を徹底的に進めていることでした。

2点目は、自立の町を目指しており、農業と観光、商業を有機的に結合させた「農・観一体のまちづくり」を進めていることでした。

また、地域再生計画の支援措置を導入し、特に「軽トラツク市」(街中の歩行者天国)は警察庁の特区申請、「あねっこバス」はNPOによるデマンドバスの運行など、多くの特区申請を行っています。さらに、地域の連帯感を高め、地域の自立を促すための自主

防災組織の育成や指定管理者制度の導入によるNPOとのパートナーシップの取り組みなど雫石型の協働によるまちづくりを展開しているとのことでした。

②岩手県滝沢村は、「行政は経営である」という基本認識のもと、自らを行政主体から住民・コミュニティ主体という新しい自治への改革を推進するエンジンの役割と位置づけ、同村のビジョンとして、分権社会は住民が自立した社会、住民が自ら主体となつて地域の公共課題を克服する社会として、新しい自治、新しい公共経営を目指しているとのことでした。

また、行政組織像は、自立した住民の支援者であり、行政は住民にとってコオーディネイター、コンサルタント、アドバイザーとしての価値を提供することにより、住民本位の優れた行政組織に変革が必要とのことでした。今回、行政視察を行った結果、キーワードは「意識改革」と「行政経営」であると考えられています。

財政の現状と今後の課題  
について

本町における財政の現状は、町税は景気の回復によ



りやや上向きつつあることや、三位一体の改革による税源移譲などにより税収の伸びが期待できるものの、骨太の方針2006を基本とした、国庫支出金の削減・縮小、地方交付税の見直しによる関連収入の減額により歳入全体の伸びは期待できず、財政運営は依然として厳しい状況です。

平成20年度予算編成にあたり、酒々井町財政健全化緊急対策計画を現状に合わせて見直しを行ったところ、今後は歳入の伸びが期待できない状況であることから、歳出の経常的経費の大宗を占める人件費等の削減は重要な課題と考えています。

緊急情報の放送に関する協定書の締結について

去る11月1日に酒々井町及び酒々井町水道事業と株式会社社高速広域ネット296との間で、町民の生命、身体及び財産等の保護に関する緊急情報について、ケーブルテレビを利用して町民に提供する「緊急情報の放送に関する協定書」を締結しました。

これは、緊急時の情報を本町の要請により当該ケーブルテレビの放送の中でテロップにより流すものです。

これにより、更に「安全・安心なまちづくり」を一層推進できるものと期待しています。

酒々井小学校屋内運動場の改築について

酒々井小学校校屋内運動場は、耐震診断及び耐力度調査の結果、建物の耐震性が大きく国の基準を下回ることが判明し、将来を担う子どもたちの安全確保、教育環境の整備は最重

要のため、事業費、建設面積、建設場所など大きな財政負担を伴うものの、来年度に事業着手することにしました。

北側の校舎から連絡する形で校庭と駐車スペースの一部を利用することとし、酒々井小学校創立100周年を迎える平成20年度に設計業務に着手し、平成21年度に建設工事を実施します。

酒々井町立岩橋保育園増設工事の工期変更について

当初、工事完成を12月中旬の予定としましたが、敷地境界の確認等のための諸手続きが必要となり、完成が平成20年3月中旬に変更になりました。

酒々井町放課後子どもプラン推進事業の実施について

「酒々井町放課後子どもプラン」のうち、「放課後子ども教室」については本年10月より開始し、酒々井小学校では毎週水曜日に、大室台小学校では毎週火曜日に実施しています。

対象児童は全学年で、体育館を主な活動場所として、学年の異なる児童や地域の大人たちと、勉強やスポーツ、文化活動を実施し、交流を図っています。

「放課後児童クラブ」、いわゆる学童保育については、大室台小学校内での平成20年1月の開設に向けて準備を進めているところです。

保護者及び地域住民の方の出席をいただき、放課後児童クラブ運営委員会の設置について協議し、運営については、保護者と住民との協働により実施していく方式に決定したので、施設は町で整備し、運営は放課後児童クラブ運営委員会に委託する方向で考えています。

### 「歩き・み・ふれる歴史の道 in 酒々井」開催結果等について

去る10月28日に「歩き・み・ふれる歴史の道 in 酒々井」を開催し、当日の参加人数は594名で、役員、スタッフを合わせると約700名の町内外の皆様に参加していただき、盛況のうちに終了することができました。

これもひとえに、参加者の皆様をはじめ、各地区の関係者及び各種関係団体のご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。



### 酒々井町立図書館開館時間延長の試行について

酒々井町立図書館の開館時間については、平成20年1月5日から平成21年3月31日までの期間、プレミアム酒々井の開館日以外の毎週金曜日の開館時間を1時間30分延長

し、午後6時半までとします。これは、過日開催された中学生模擬議会において開館時間延長の要望があったことと、図書館としても利用者の掘り起こしを図ることなどを目的に試験的に開館時間を延長するものです。

### 佐倉市酒々井町清掃組合の不祥事について

当組合の公金紛失事件について、去る11月26日に清掃組合議会全員協議会が開かれ、経過報告と管理者である藤佐倉市長からお詫びとともに、3点の報告を受けました。  
1点目の「事実関係の確認」では、千葉地方検察庁に起訴内容の確認をしました。

2点目の「再発防止の徹底」では、処理手数料の徴収方法の改善や防犯設備等の設置をすることをいふことです。

3点目の「損害の回復」については、当事者の家族から当人名義で損害額の補填の申し入れがあり、利息分を加えた額が補填されたとのことです。

平成19年9月議会で継続審査となっていた平成18年度の各会計決算については、それぞれ認定されました。

### 決算審査特別委員会 引地修一委員長報告

3日間にわたり委員会を開催し、執行部からの詳細な説明をもとに厳正な審査を行ったところ、平成18年度一般会計及び各特別会計決算、平成18年度水道事業会計決算ともに、それぞれ認定すべきものと決定しました。

なお、審査の過程において、今後の予算執行にあたり、次のような意見や要望事項がありました。

#### 全般事項

○町の重要施策については、町民の理解と信頼及び協力を得るため、事業計画、事業内容、進捗状況等の情報開示に更に努められたい。

#### 一般会計

○法人町民税割割については、資本金額に応じた不均一課税方式等により引き上げを検討

し、さらなる自主財源の確保に努められたい。

○庁内には、198台のパソコンが使用されているが、うち31台は個人所有であるため、セキュリティ面などからも早期にパソコンを購入し、個人パソコンの解消を図るとともに、セキュリティポリシーに基づき、組織的な管理の推進を図られたい。

○緊急災害に対応するためには、防災備蓄倉庫及び防災井戸は必要な施設であり、計画的に設置の検討をされたい。

○しやすいふれ愛タクシーについては、町民の利用向上の促進と収入の確保を図るとともに、障害者も利用できるような工夫を検討されるよう配慮されたい。

○社会福祉協議会への補助金については、厳しい町の財政状況を踏まえ、補助対象にしている法人運営費の内容を精査検証し、引き続き適正な補助金額の検討に努められたい。  
○健康維持の施策は医療費の抑制に連動することを踏まえ、町民一人ひとりの健康づくりと各種疾病予防対策について

一層の推進を期待する。とりわけ、後期高齢者医療制度創設に伴う評価制度も意識し、生活習慣病対策を重視された

い。  
○同和対策に係る事業については、一般対策として必要な施策を推進できるよう検証されたい。特に推進業務委託及び団体補助金等については、必要性や効果について再検証されたい。

○義務教育費については、教育の機会均等とその水準の維持向上をめざす観点から、町の厳しい財政状況の中ではあるが、教育費の確保に努められたい。

**国民健康保険特別会計**

○国民健康保険特別会計については、後期高齢者医療制度への移行などの制度改正を十分見極め検討のうえ、安易な増税によることなく健全なる運営を期待する。

**水道事業会計**

○尾上浄水場施設及び配水管等については、施設の老朽化に対応するため、適切な点検及び効率的な整備に努められたい。

**決算の議決結果**

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果	
1	平成18年度酒々井町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会	原案認定	○
2	平成18年度酒々井町水道事業会計決算の認定について	決算審査特別委員会	原案認定	◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

**決算・賛成討論(要旨)**

**森本一美議員** 歳入については、町税や地方譲与税等が増加したものの、地方交付税の大幅な減少等のため、不足する財源について徴収率の向上をはじめ、所要の対策を行い自主財源の確保に努めるなど、大変苦勞した財政運営の痕跡がうかがえる。

歳出は、経常経費の削減に取り組むとともに、事業の投資効果及び緊急性に十分配慮し、住民福祉の向上のため、特に「福祉」「健康」「生涯学習」に係る事業や環境に配慮し、新たな発展基盤として重要な「循環型社会への対応となるまちづくり事業」に係る施策を計画的に実施された結果、財政の弾力性を示す経常収支比率は93.8%とまだ高い水準にあるものの、前年度から0.9%の減となったことは大いに評価できる。

また、各特別会計及び水道事業会計についても同様に適正かつ効率的に運営されているものと評価する。

**決算・反対討論(要旨)**

**岩澤正議員** 一般会計及び国民健康保険特別会計について、再考を求め、今後のまちづくりを活かしていただきたい思いで反対討論する。

町の実態、町民の置かれている事実を充分検証した上でまちづくりを進めないと誤りを侵すのではないかと強く感じた。国は地方分権だと言いつながら、地方の財源を減らし高齢者や障害者等の弱者の負担を増やし、福祉、医療、教育全てにわたり歳出削減を義務付ける。

決算を見れば、あらゆる分野で住民サービスの低下が起きている。敬老事業の記念品廃止をはじめ、教育費でもテストする紙が不足するなど聖域なきという削減してしまう。町民の暮らしを支える職員の給与が削減され、人数が削減され、この削減分は南部開発の調査費や調整池の調査費にまわっている。

国保税は大幅な引き上げをし、制度が決まっているから足りないので町民からでは、町として責任を果たせないのではないかと

**引地修一議員** 問題点を数点挙げて反対討論とする。  
国保税は10数%の値上げが行われながら、南部対策に応募した企業は1社もなく、もし企業が進出するとしても当初の計画より2年、3年遅れている状況の中、南部の調査費に5千数百万円出費している。もし企業が来ても平成20年度以降調査しても全く問題ない。なぜ平成18年度の早い時期に出費されたかを問題とする。

中川の調節池の問題は、議会にきちんとした報告がないまま、調節池という前提のもと1千数百万円調査費を出費しているのは問題である。

同和対策費については、国が施策をやめているのに町は多額のお金を出している。お金をかけずにみんなの人権意識を高めていくべきと思う。

社会福祉協議会への補助金はほとんど人件費であり、本当に費用対効果が発揮しているのかきちんとチェックしていただきたい。



町の考え

# そこが知りたい



一般質問は、町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。

12月定例会の一般質問は、11日と12日の2日間に12名の議員が、酒々井南部地区新産業団地、後期高齢者医療制度など、行政全般にわたり今後の対応策などについて、活発な質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町立図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、インターネットでもご覧いただけます。12月定例会の会議録は、3月中旬以降、閲覧することができます。

問

大室台小学校で準備中の学童保育について

答

保護者と住民との協働により運営していく

御園生 浩士 議員

問 大室台小学校で学童保育の開設に向けて準備中ですが、現在の進捗状況と開所までの見通しについて伺う。

町長 11月18日に大室台小学校放課後児童クラブ保護者説明会を開催し、保護者と住民の協働により運営していく方式に決定した。施設は町で整備し、運営は放課後児童クラブ運営委員会に委託する方向で考えている。今後も1月の開設に向けて積極的に推進する。

井小体育館の耐震補強工事の進捗状況について伺う。

2、町営住宅の防火対策として、すべての住宅に住宅用火災警報器を速やかに設置すべきと考えるが、町の考えについて伺う。

3、緊急地震速報がされた場合、住民の安全を守るための方策として、防災行政無線との連動性について、町の考えについて伺う。

町長

1、町体育館は引き続き使用することとし、今回の補正予算で耐震診断の経費を計上した。酒々井小学校屋内運動場については、平成20年度に設計業務に着手し、平成21年度に建設工事を実施する方向で進める。

2、改良住宅・町営住宅は11月30日に設置完了した。

3、町の防災行政無線のシステムは、緊急速報をそのまま防災行政無線放送に活用できる段階ではないが、地震などの情報を瞬時に町民へ通報できることのメリットは大きいので、活用事例等を調査し検討する。

安全・安心なまちづくりについて

問 次の3点について伺う。

1、町の将来を担う子どもたちの教育環境の整備及び災害時に避難場所として対策本部の拠点並びに避難場所として重要な役割を担う町体育館、酒々



問 酒々井ICと南部地区新産業団地の進捗状況について

答 地権者や関係者の方々のご協力をいただきながら、用地取得を進めている

引地 修一 議員

問 酒々井IC、南部関連事業で次の点を伺う。

1、酒々井ICとアクセス道路の用地買収の状況を伺う。

2、都市再生機構（UR）の土地売買価格は151億円以上であるが、それから計算した固定資産税は、何年後から、どの程度見込んでいるのか。

3、酒々井ICは、URが希望した高規格型ICとなるので、URは追加工事代金20億円を県に支払う協定を結んでいる。それならばURの集客者数に合わせたICへの町負担アクセス道路4車線もURが負担すべきと考えるが町の考えを伺う。

4、酒々井ICの計画地区と南部新産業団地周辺には、絶滅が危惧されているオオタカとサシバが飛来している。この点について町の考えを伺う。

町長

- 1、県事業のICとアクセス道路は、
- 27.5%、町事業のアクセス道路は、
- 29.9%取得したところである。
- 3、現在、町と県との間で事業費の負担区分等を含め協議中である。

4、県が両種の行動圏などの生態調査を実施しており、今後は専門家の意見を聞きながら保全対策を検討していくと伺っている。

参事

2、当初は6千万円程度を見込み、想定する1億2千万円までには現在の税制の中では10年程かかると見込んでいる。

農業散布について

問 農業散布について次の点を伺う。

1、学校や保育所、公園などでの農業散布を最小限にするよう国が2003年と今年1月に繰り返し求めているが、町の現状について伺う。

2、町では有機リン系殺虫剤を使用しているのか伺う。

教育次長

1、町では農業の散布を控え、捕殺により対応しているが、高木等に害虫の発生を確認した場合は被害のある樹木のみ農業を散布している。

2、有機リン系の殺虫剤は使用せず、安全性の高い薬剤を使用している。

問 来年度予算の中で重点施策は何か

答 酒々井小学校体育館改築などを実施する

篠田 誠 議員

問 来年度予算の中で、重点施策等について伺う。

町長 第4次総合計画第3期基本計画を十分考慮し、健康、生涯学習及び循環型社会への対応となるまちづくり事業のほか、酒々井小学校体育館改築など、創意工夫をこらし、できる限り実施していく。

問 AED（自動体外式除細動器）の設置について、先の9月議会の補正予算で5台分を組み、その内3台を小中学校、さらに2台分を飲料メーカーとのタイアップで無料設置したが、残り2台分の設置について伺う。

総務課長 役場庁舎及び公民館に飲料メーカーとのタイアップにより無料設置することができた。そのため、残り2台分については、スポーツ大会や各種行事での備えや、自治会等で行う行事等への貸し出し用として購入を考えている。

問 中川治水対策について9月議会以降の経過と変更点等があれば伺う。

町長 施工中であったトケ崎及び中川地区の緊急対策工事が竣工し、今後は

調節池に係る用地測量等を予定している。

問 来年度から始まる特定健診について現状と今後の対応について伺う。

町長 11月に有識者による健康福祉座談会を開催し、生活習慣病対策が重要との指摘を受け、町としては、町民の健康な食生活とセルフケアをサポートすることが重要であり、それを町民が実践できる体制づくりも必要であると認識している。また、生活習慣病予防には、子供のときから取り組むことで、一層の効果が期待できることから、来年度から子供の生活習慣病対策を含め、更に充実させていきたい。

問 後期高齢者医療について、平均的な年金世帯における開始前、開始後の負担額について伺う。

町長 平均的な所得の、厚生年金208万円受給者のケースでは、年額7万6,500円となり、これを国民健康保険に置き換えると、単身世帯で資産割がないケースでは、10万6,200円となり、28%負担が減る結果となる。



問 酒々井小体育館改築のスケジュールは

答 平成20年度に設計業務に着手、21年度に建設工事を実施する方向である

平澤 昭敏 議員

問 酒々井小学校体育館改築のための財源等について次の点を伺う。

- 1、酒々井小学校体育館改築の財源として、公共用地を含めた公有地の売却の意思及び建設に向けてのスケジュールについて町の考えを伺う。
- 2、公共用地を売却した場合、現在公共用地を利用しての少年野球チームの移転先について町の考えを伺う。

町長

1、公有地の有効活用について、庁内に公有地活用検討会を設け、検討を行っている。公共用地も検討の対象地に含まれており、酒々井小学校屋内運動場改築の事業内容及び財源状況を考えながら、売却の可能性等総合的に判断し、公募による売却制度を確立し、売却についても検討していきたい。改築スケジュールについては、平成20年度に設計、平成21年度に建設工事を実施する方向で進めていく。

2、仮に公共用地が売却などにより使用できなくなる場合は、代替地の確

保について総合公園も含めて検討して行きたい。



改築が予定されている酒々井小学校屋内運動場

妊婦健診の公費負担について

問 厚生労働省は「妊婦健診は5回程度公費で負担するのが原則」としているが、町の考えを伺う。

町長 現在、妊娠前期と後期の2回公費負担を行っているが、これを5回程度まで増やし公費負担の充実を図ることとで妊娠、出産にかかる経済的不安を軽減し、少子化解消の一助になるもの

と考える。現在、千葉県医師会と県内市町村の取りまとめを行っている県市長会が健診単価について交渉中であり、決定次第、財政状況をみながら公費負担の回数増加について検討していく。

問 ボランティア組織に対する支援と協力関係の構築を認識しているか

答 サロンでは、各団体が活動報告や意見交換、学習を行えるよう支援する

川島 邦彦 議員

問 地域が支えるまちづくりの機能をどのように高めていくかの視点から、地域ボランティア組織に対する認識と支援策について伺う。

- 1、町内のボランティア組織全般を俯瞰できる環境、具体的にはインターネットホームページ創設をイメージするが、活動に関心をもつ町民が容易に情報を入手できるような、町の支援を考えているか伺う。
- 2、来年度に予定する交流の場（サロン）及び住民協働課の新設について町の姿勢を評価する。そのうえで、ボランティア組織等との協力関係構築に対する考えを伺う。
- 3、ボランティア組織に共通する財政課題について、寄付行為等環境整備の考えを伺う。

町長

1、ボランティア、NPO等の活動にかかる情報提供・広報を町の広報紙等で随時掲載しているが、さらにホームページでの団体の活動内容等も含め情報発信等の手段について前向きに検討する。

- 2、町民交流の場（サロン）は、ボランティアや自主的な活動を行うなど、公益的活動を主とした方々のコミュニケーションの場とし、各団体が活動報告や意見交換、学習を行えるよう支援する。
- 3、町独自の助成制度を検討する。提案のあった、寄付行為等環境整備の諸制度については、今後の検討課題とする。

問 酒々井ちびっこ天国は町運営の初年度であることから以下を伺う。

- 1、本年度実績と評価及び次年度以降の課題について
- 2、施設の通年利用に向けた準備と考
- 3、今後の運営方針について

町長

1、昨年度を上回る入場者数があり、一定の評価ができるものと考えます。

2、健康づくり事業を開始するにあたり、必要最小限の管理棟施設改修を補正予算に計上した。

3、施設管理並びにプール事業及び町民の健康づくり事業を進めていく。

## 問 都市再生機構による公募の結果は

**答** 申し込みには至らなかったが、複数者が検討中とのことから募集期間を延長した

菊地 宏 議員

問 南部地区新産業団地及び酒々井I

Cについて次の点を伺う。

- 1、今、町がやるうとしている案は、どのようなものなのか。当初の案と現在の案との比較について伺う。
- 2、平成18年度から平成22年度までの5年間で実施する事業費は南部開発事業では、42億円から15億円に修正したが、その内容について伺う。
- 3、都市再生機構（UR）の企業選定、審査の結果について伺う。
- 4、酒々井ICについて、進出企業が不明な現在、いわゆる「立体型」計画は必要なのか伺う。

町長

- 1、当初の計画では、工業系を主体としていたが、立地の特性を活かすため、複合型の新産業団地の形成を目指し、都市計画の変更を行った。
- 2、当面の5年間で最低必要箇所の整備として約15億円であり、残りの事業費については、関連事業の進捗状況を勘案しながら行っていく。
- 3、URより、募集期間内での申し込みに至らなかったが、複数者が、

引き続き検討したいとのことから、1月31日まで募集期間を延長すると報告を受けたところである。

4、南部地区新産業団地開発による交通量を含めると、平面Y型の許容範囲を超えているため、トランペット型が必要であると考えている。

**町営墓地公園の建設について**

問 現在、町には公園型の墓地がないことから、町営の墓地公園建設を提案するが、町としての考えについて伺う。

町長 町総合計画で、「寺院や霊園の状況により、住民ニーズに対応できるように検討します」としており、将来的な墓地需要の動向を注視していきたい。

**中川踏切などの渋滞について**

問 中川踏切と国道296号東酒々井入口の渋滞について、町は住民の立場に立ち、県と交渉して頂きたいが、町の考えについて伺う。

町長 中川踏切の更なる交通量の増加に対しては、新たな道路計画を検討することも必要と考える。東酒々井入口交差点は、県に右折車線の確保を要望しており、県も必要性を認識している。

## 問 上野作跨線橋及び取付け道路建設について

**答** 反対意見も多ことから、JR酒々井駅周辺の新たな道路計画を検討することも必要と考える

佐藤 修一 議員

問 都市計画道路3・4・26号線上野

作跨線橋及び取付け道路について次の点を伺う。

- 1、上野作跨線橋及び取付け道路建設については、東酒々井地区と中央台地区を結ぶ幹線道路として計画されてから30数年を経過しているが、未だに具体的な動きがない状況である。この計画に対し、今後、町はどのように対応するのか伺う。
- また、当初計画された位置での建設が不可能ならば別ルートでの検討も考えるべきと思うが、町の考えについて伺う。

2、上野作跨線橋建設については、過去促進に係わる交渉が地権者や自治会と行われたと聞いているが、地権者や関係者の意向はどうなっているのか伺う。

3、取付け道路予定部分は、現在空き地となっており、梅雨時期には草木が生い茂っている。今後、この空地の管理はどうするのか伺う。また、この空地を駐車場等有効利用できないのか町の考えを伺う。

町長

1.2、未整備区間の東酒々井地区及び中央台地区については、都市計画決定時から各自治会に対する説明会や地域住民の方を対象とした説明会はいずれにおいても、通過交通の増加による交通安全対策上の懸念や、騒音及び振動等の住環境悪化を理由とした意見が多く、事業に関する理解がいただけないまま現在に至っている。東酒々井地区と中央台地区を結ぶ幹線道路は、来るべき少子高齢化社会に対応する緊急医療体制を考慮すると、JR酒々井駅周辺の新たな道路計画について検討することも必要であると考えている。

3、管理状況については、平成17年に木柵等により道路用地内の一般車両を排除し、定期的に除草作業を実施している。駐車場等の有効利用については、町道と同様に空地部分も行政財産としての取扱いとなるので、特例で町主催事業において、駐車場として使用しているが、一般への利用や貸付等は難しい状況である。

**問** 町民からの信頼を増すための自治体職員としての意識改革は

**答** ご意見、ご要望に対し、迅速かつ誠実に対応することが第一条件

原 義明 議員

**問** 地方分権の進展により国と地方が対等となり、それにより町民から自治体に対する期待は必然的に高まる。これに対応するため職員のモチベーションアップのための庁内組織改革は必要であるが、個々の職員も、どう町民の信頼を確保していくのか、どのような理念をベースとした意識改革が必要であるかを考え、次の点について伺う。

- 1、9月議会での、参事制から部長制への前向きな答弁のその後の状況は。
- 2、年功序列を課長立候補制へと制度変更する意向があるかどうか。
- 3、自治体職員の成果主義の基準は。
- 4、町民から信頼される自治体職員の第一条件とは何か。

**町長**

1、県と協議を重ねてきたが、町の規模からも部制をひかなくてはならない根拠が見当たらないという指導を受けた。

2、来年度は総務課内に設置する危機管理室の室長ポストを、職員から公募する。

3、職員一人ひとりが自らの役割を自

覚し、組織目標達成のために各自が取り組むべき業務課題を設定し、達成させることだと考える。

4、町民全体の奉仕者であることを自覚し、常に公正に職務を遂行することとはもちろんのこと、町民からのご意見、ご要望に対し、迅速かつ誠実に対応することができる職員だと考える。

**財源捻出のための町有財産の有効利用について**

**問** 厳しい財政状況が続く中、削減にも限界がある一方で、ロスを見直しながら財源を捻出する方策を見いだす知恵が必要と考え、J R酒々井駅西口、京成酒々井駅西口、J R南酒々井駅前

の町有地売却、又は貸し出しの意向があるか、又現在の管理状況を伺う。

**町長** 庁内に公有地検討会を設け検討している。京成酒々井駅西口については酒々井小学校屋内運動場改築の財源

として売却の可能性を検討している。いずれも空き地の状況であり、雑草等の繁茂の状況を見て、町職員で草刈を実施している。

**問** 進出企業が決定した時は議会に諮るべきである

**答** 南部地区開発の状況を見ていきたい

齊藤 博 議員

**問** 都市再生機構（UR）による開発事業者の募集に申し込みがなく期間を2か月延長したが、進出企業が決定した時は、新たな計画として議会の議決を経るべきである。

**町長** 町としては引き続き事業主体であるURに早期事業化を要望している。南部地区開発の状況を見ていきたい。

**平成20年度予算編成について**

**問** 町は「酒々井のまちづくり」を作成し、その中で将来の財政見通しとして平成24年度には貯金ができること楽観的な想定をしているが、

- 1、大きな予算を伴うプロジェクト事業とは何を指すのか、又財源内訳は。
- 2、平成23年度以降の想定に南部地区開発のうち、先送りされた事業（約23億円）は計算されているのか。
- 3、平成20年度では2億2,000万円の歳出削減をするというが、住民サービスの低下を招かないものか。

**町長**

1、中川治水対策等いろいろあるが、酒々井小学校屋内運動場はまだ設計していない。当町自体が大きな財政

規模をもっていないので、ある程度の幅を設けて必要・緊急度などを考慮し事業を実施していく。

2、事業を精査し仕上げていく。今後国、県と協議を進めていくので、今の段階では明示できる状況でない。

3、人件費の削減をはじめ、物件費や補助費等の経常経費の削減を重点目標として、財源を確保していく。

**情報公開制度について**

**問** 情報の共有と説明責任は、行政の基本だと思うが、大規模事業であるにもかかわらず、これまで明示されて来なかった南部地区開発及び中川治水対策事業について、年次毎の事業内容、事業費等を明示すべきである。

**町長** 中川についての事業費は、20年度1億5,000万円、21年度1億9,400万円、22年度1億9,400万円、23年度1億9,400万円、24年度1億9,400万円、25年度1億9,400万円、26年度1億9,400万円、27年度1億9,400万円、28年度1億9,400万円、29年度1億9,400万円、30年度1億9,400万円、31年度1億9,400万円、32年度1億9,400万円、33年度1億9,400万円、34年度1億9,400万円、35年度1億9,400万円、36年度1億9,400万円、37年度1億9,400万円、38年度1億9,400万円、39年度1億9,400万円、40年度1億9,400万円、41年度1億9,400万円、42年度1億9,400万円、43年度1億9,400万円、44年度1億9,400万円、45年度1億9,400万円、46年度1億9,400万円、47年度1億9,400万円、48年度1億9,400万円、49年度1億9,400万円、50年度1億9,400万円、51年度1億9,400万円、52年度1億9,400万円、53年度1億9,400万円、54年度1億9,400万円、55年度1億9,400万円、56年度1億9,400万円、57年度1億9,400万円、58年度1億9,400万円、59年度1億9,400万円、60年度1億9,400万円、61年度1億9,400万円、62年度1億9,400万円、63年度1億9,400万円、64年度1億9,400万円、65年度1億9,400万円、66年度1億9,400万円、67年度1億9,400万円、68年度1億9,400万円、69年度1億9,400万円、70年度1億9,400万円、71年度1億9,400万円、72年度1億9,400万円、73年度1億9,400万円、74年度1億9,400万円、75年度1億9,400万円、76年度1億9,400万円、77年度1億9,400万円、78年度1億9,400万円、79年度1億9,400万円、80年度1億9,400万円、81年度1億9,400万円、82年度1億9,400万円、83年度1億9,400万円、84年度1億9,400万円、85年度1億9,400万円、86年度1億9,400万円、87年度1億9,400万円、88年度1億9,400万円、89年度1億9,400万円、90年度1億9,400万円、91年度1億9,400万円、92年度1億9,400万円、93年度1億9,400万円、94年度1億9,400万円、95年度1億9,400万円、96年度1億9,400万円、97年度1億9,400万円、98年度1億9,400万円、99年度1億9,400万円、100年度1億9,400万円、101年度1億9,400万円、102年度1億9,400万円、103年度1億9,400万円、104年度1億9,400万円、105年度1億9,400万円、106年度1億9,400万円、107年度1億9,400万円、108年度1億9,400万円、109年度1億9,400万円、110年度1億9,400万円、111年度1億9,400万円、112年度1億9,400万円、113年度1億9,400万円、114年度1億9,400万円、115年度1億9,400万円、116年度1億9,400万円、117年度1億9,400万円、118年度1億9,400万円、119年度1億9,400万円、120年度1億9,400万円、121年度1億9,400万円、122年度1億9,400万円、123年度1億9,400万円、124年度1億9,400万円、125年度1億9,400万円、126年度1億9,400万円、127年度1億9,400万円、128年度1億9,400万円、129年度1億9,400万円、130年度1億9,400万円、131年度1億9,400万円、132年度1億9,400万円、133年度1億9,400万円、134年度1億9,400万円、135年度1億9,400万円、136年度1億9,400万円、137年度1億9,400万円、138年度1億9,400万円、139年度1億9,400万円、140年度1億9,400万円、141年度1億9,400万円、142年度1億9,400万円、143年度1億9,400万円、144年度1億9,400万円、145年度1億9,400万円、146年度1億9,400万円、147年度1億9,400万円、148年度1億9,400万円、149年度1億9,400万円、150年度1億9,400万円、151年度1億9,400万円、152年度1億9,400万円、153年度1億9,400万円、154年度1億9,400万円、155年度1億9,400万円、156年度1億9,400万円、157年度1億9,400万円、158年度1億9,400万円、159年度1億9,400万円、160年度1億9,400万円、161年度1億9,400万円、162年度1億9,400万円、163年度1億9,400万円、164年度1億9,400万円、165年度1億9,400万円、166年度1億9,400万円、167年度1億9,400万円、168年度1億9,400万円、169年度1億9,400万円、170年度1億9,400万円、171年度1億9,400万円、172年度1億9,400万円、173年度1億9,400万円、174年度1億9,400万円、175年度1億9,400万円、176年度1億9,400万円、177年度1億9,400万円、178年度1億9,400万円、179年度1億9,400万円、180年度1億9,400万円、181年度1億9,400万円、182年度1億9,400万円、183年度1億9,400万円、184年度1億9,400万円、185年度1億9,400万円、186年度1億9,400万円、187年度1億9,400万円、188年度1億9,400万円、189年度1億9,400万円、190年度1億9,400万円、191年度1億9,400万円、192年度1億9,400万円、193年度1億9,400万円、194年度1億9,400万円、195年度1億9,400万円、196年度1億9,400万円、197年度1億9,400万円、198年度1億9,400万円、199年度1億9,400万円、200年度1億9,400万円、201年度1億9,400万円、202年度1億9,400万円、203年度1億9,400万円、204年度1億9,400万円、205年度1億9,400万円、206年度1億9,400万円、207年度1億9,400万円、208年度1億9,400万円、209年度1億9,400万円、210年度1億9,400万円、211年度1億9,400万円、212年度1億9,400万円、213年度1億9,400万円、214年度1億9,400万円、215年度1億9,400万円、216年度1億9,400万円、217年度1億9,400万円、218年度1億9,400万円、219年度1億9,400万円、220年度1億9,400万円、221年度1億9,400万円、222年度1億9,400万円、223年度1億9,400万円、224年度1億9,400万円、225年度1億9,400万円、226年度1億9,400万円、227年度1億9,400万円、228年度1億9,400万円、229年度1億9,400万円、230年度1億9,400万円、231年度1億9,400万円、232年度1億9,400万円、233年度1億9,400万円、234年度1億9,400万円、235年度1億9,400万円、236年度1億9,400万円、237年度1億9,400万円、238年度1億9,400万円、239年度1億9,400万円、240年度1億9,400万円、241年度1億9,400万円、242年度1億9,400万円、243年度1億9,400万円、244年度1億9,400万円、245年度1億9,400万円、246年度1億9,400万円、247年度1億9,400万円、248年度1億9,400万円、249年度1億9,400万円、250年度1億9,400万円、251年度1億9,400万円、252年度1億9,400万円、253年度1億9,400万円、254年度1億9,400万円、255年度1億9,400万円、256年度1億9,400万円、257年度1億9,400万円、258年度1億9,400万円、259年度1億9,400万円、260年度1億9,400万円、261年度1億9,400万円、262年度1億9,400万円、263年度1億9,400万円、264年度1億9,400万円、265年度1億9,400万円、266年度1億9,400万円、267年度1億9,400万円、268年度1億9,400万円、269年度1億9,400万円、270年度1億9,400万円、271年度1億9,400万円、272年度1億9,400万円、273年度1億9,400万円、274年度1億9,400万円、275年度1億9,400万円、276年度1億9,400万円、277年度1億9,400万円、278年度1億9,400万円、279年度1億9,400万円、280年度1億9,400万円、281年度1億9,400万円、282年度1億9,400万円、283年度1億9,400万円、284年度1億9,400万円、285年度1億9,400万円、286年度1億9,400万円、287年度1億9,400万円、288年度1億9,400万円、289年度1億9,400万円、290年度1億9,400万円、291年度1億9,400万円、292年度1億9,400万円、293年度1億9,400万円、294年度1億9,400万円、295年度1億9,400万円、296年度1億9,400万円、297年度1億9,400万円、298年度1億9,400万円、299年度1億9,400万円、300年度1億9,400万円、301年度1億9,400万円、302年度1億9,400万円、303年度1億9,400万円、304年度1億9,400万円、305年度1億9,400万円、306年度1億9,400万円、307年度1億9,400万円、308年度1億9,400万円、309年度1億9,400万円、310年度1億9,400万円、311年度1億9,400万円、312年度1億9,400万円、313年度1億9,400万円、314年度1億9,400万円、315年度1億9,400万円、316年度1億9,400万円、317年度1億9,400万円、318年度1億9,400万円、319年度1億9,400万円、320年度1億9,400万円、321年度1億9,400万円、322年度1億9,400万円、323年度1億9,400万円、324年度1億9,400万円、325年度1億9,400万円、326年度1億9,400万円、327年度1億9,400万円、328年度1億9,400万円、329年度1億9,400万円、330年度1億9,400万円、331年度1億9,400万円、332年度1億9,400万円、333年度1億9,400万円、334年度1億9,400万円、335年度1億9,400万円、336年度1億9,400万円、337年度1億9,400万円、338年度1億9,400万円、339年度1億9,400万円、340年度1億9,400万円、341年度1億9,400万円、342年度1億9,400万円、343年度1億9,400万円、344年度1億9,400万円、345年度1億9,400万円、346年度1億9,400万円、347年度1億9,400万円、348年度1億9,400万円、349年度1億9,400万円、350年度1億9,400万円、351年度1億9,400万円、352年度1億9,400万円、353年度1億9,400万円、354年度1億9,400万円、355年度1億9,400万円、356年度1億9,400万円、357年度1億9,400万円、358年度1億9,400万円、359年度1億9,400万円、360年度1億9,400万円、361年度1億9,400万円、362年度1億9,400万円、363年度1億9,400万円、364年度1億9,400万円、365年度1億9,400万円、366年度1億9,400万円、367年度1億9,400万円、368年度1億9,400万円、369年度1億9,400万円、370年度1億9,400万円、371年度1億9,400万円、372年度1億9,400万円、373年度1億9,400万円、374年度1億9,400万円、375年度1億9,400万円、376年度1億9,400万円、377年度1億9,400万円、378年度1億9,400万円、379年度1億9,400万円、380年度1億9,400万円、381年度1億9,400万円、382年度1億9,400万円、383年度1億9,400万円、384年度1億9,400万円、385年度1億9,400万円、386年度1億9,400万円、387年度1億9,400万円、388年度1億9,400万円、389年度1億9,400万円、390年度1億9,400万円、391年度1億9,400万円、392年度1億9,400万円、393年度1億9,400万円、394年度1億9,400万円、395年度1億9,400万円、396年度1億9,400万円、397年度1億9,400万円、398年度1億9,400万円、399年度1億9,400万円、400年度1億9,400万円、401年度1億9,400万円、402年度1億9,400万円、403年度1億9,400万円、404年度1億9,400万円、405年度1億9,400万円、406年度1億9,400万円、407年度1億9,400万円、408年度1億9,400万円、409年度1億9,400万円、410年度1億9,400万円、411年度1億9,400万円、412年度1億9,400万円、413年度1億9,400万円、414年度1億9,400万円、415年度1億9,400万円、416年度1億9,400万円、417年度1億9,400万円、418年度1億9,400万円、419年度1億9,400万円、420年度1億9,400万円、421年度1億9,400万円、422年度1億9,400万円、423年度1億9,400万円、424年度1億9,400万円、425年度1億9,400万円、426年度1億9,400万円、427年度1億9,400万円、428年度1億9,400万円、429年度1億9,400万円、430年度1億9,400万円、431年度1億9,400万円、432年度1億9,400万円、433年度1億9,400万円、434年度1億9,400万円、435年度1億9,400万円、436年度1億9,400万円、437年度1億9,400万円、438年度1億9,400万円、439年度1億9,400万円、440年度1億9,400万円、441年度1億9,400万円、442年度1億9,400万円、443年度1億9,400万円、444年度1億9,400万円、445年度1億9,400万円、446年度1億9,400万円、447年度1億9,400万円、448年度1億9,400万円、449年度1億9,400万円、450年度1億9,400万円、451年度1億9,400万円、452年度1億9,400万円、453年度1億9,400万円、454年度1億9,400万円、455年度1億9,400万円、456年度1億9,400万円、457年度1億9,400万円、458年度1億9,400万円、459年度1億9,400万円、460年度1億9,400万円、461年度1億9,400万円、462年度1億9,400万円、463年度1億9,400万円、464年度1億9,400万円、465年度1億9,400万円、466年度1億9,400万円、467年度1億9,400万円、468年度1億9,400万円、469年度1億9,400万円、470年度1億9,400万円、471年度1億9,400万円、472年度1億9,400万円、473年度1億9,400万円、474年度1億9,400万円、475年度1億9,400万円、476年度1億9,400万円、477年度1億9,400万円、478年度1億9,400万円、479年度1億9,400万円、480年度1億9,400万円、481年度1億9,400万円、482年度1億9,400万円、483年度1億9,400万円、484年度1億9,400万円、485年度1億9,400万円、486年度1億9,400万円、487年度1億9,400万円、488年度1億9,400万円、489年度1億9,400万円、490年度1億9,400万円、491年度1億9,400万円、492年度1億9,400万円、493年度1億9,400万円、494年度1億9,400万円、495年度1億9,400万円、496年度1億9,400万円、497年度1億9,400万円、498年度1億9,400万円、499年度1億9,400万円、500年度1億9,400万円、501年度1億9,400万円、502年度1億9,400万円、503年度1億9,400万円、504年度1億9,400万円、505年度1億9,400万円、506年度1億9,400万円、507年度1億9,400万円、508年度1億9,400万円、509年度1億9,400万円、510年度1億9,400万円、511年度1億9,400万円、512年度1億9,400万円、513年度1億9,400万円、514年度1億9,400万円、515年度1億9,400万円、516年度1億9,400万円、517年度1億9,400万円、518年度1億9,400万円、519年度1億9,400万円、520年度1億9,400万円、521年度1億9,400万円、522年度1億9,400万円、523年度1億9,400万円、524年度1億9,400万円、525年度1億9,400万円、526年度1億9,400万円、527年度1億9,400万円、528年度1億9,400万円、529年度1億9,400万円、530年度1億9,400万円、531年度1億9,400万円、532年度1億9,400万円、533年度1億9,400万円、534年度1億9,400万円、535年度1億9,400万円、536年度1億9,400万円、537年度1億9,400万円、538年度1億9,400万円、539年度1億9,400万円、540年度1億9,400万円、541年度1億9,400万円、542年度1億9,400万円、543年度1億9,400万円、544年度1億9,400万円、545年度1億9,400万円、546年度1億9,400万円、547年度1億9,400万円、548年度1億9,400万円、549年度1億9,400万円、550年度1億9,400万円、551年度1億9,400万円、552年度1億9,400万円、553年度1億9,400万円、554年度1億9,400万円、555年度1億9,400万円、556年度1億9,400万円、557年度1億9,400万円、558年度1億9,400万円、559年度1億9,400万円、560年度1億9,400万円、561年度1億9,400万円、562年度1億9,400万円、563年度1億9,400万円、564年度1億9,400万円、565年度1億9,400万円、566年度1億9,400万円、567年度1億9,400万円、568年度1億9,400万円、569年度1億9,400万円、570年度1億9,400万円、571年度1億9,400万円、572年度1億9,400万円、573年度1億9,400万円、574年度1億9,400万円、575年度1億9,400万円、576年度1億9,400万円、577年度1億9,400万円、578年度1億9,400万円、579年度1億9,400万円、580年度1億9,400万円、581年度1億9,400万円、582年度1億9,400万円、583年度1億9,400万円、584年度1億9,400万円、585年度1億9,400万円、586年度1億9,400万円、587年度1億9,400万円、588年度1億9,400万円、589年度1億9,400万円、590年度1億9,400万円、591年度1億9,400万円、592年度1億9,400万円、593年度1億9,400万円、594年度1億9,400万円、595年度1億9,400万円、596年度1億9,400万円、597年度1億9,400万円、598年度1億9,400万円、599年度1億9,400万円、600年度1億9,400万円、601年度1億9,400万円、602年度1億9,400万円、603年度1億9,400万円、604年度1億9,400万円、605年度1億9,400万円、606年度1億9,400万円、607年度1億9,400万円、608年度1億9,400万円、609年度1億9,400万円、610年度1億9,400万円、611年度1億9,400万円、612年度1億9,400万円、613年度1億9,400万円、614年度1億9,400万円、615年度1億9,400万円、616年度1億9,400万円、617年度1億9,400万円、618年度1億9,400万円、619年度1億9,400万円、620年度1億9,400万円、621年度1億9,400万円、622年度1億9,400万円、623年度1億9,400万円、624年度1億9,400万円、625年度1億9,400万円、626年度1億9,400万円、627年度1億9,400万円、628年度1億9,400万円、629年度1億9,400万円、630年度1億9,400万円、631年度1億9,400万円、632年度1億9,400万円、633年度1億9,400万円、634年度1億9,400万円、635年度1億9,400万円、636年度1億9,400万円、637年度1億9,400万円、638年度1億9,400万円、639年度1億9,400万円、640年度1億9,400万円、641年度1億9,400万円、642年度1億9,400万円、643年度1億9,400万円、644年度1億9,400万円、645年度1億9,400万円、646年度1億9,400万円、647年度1億9,400万円、648年度1億9,400万円、649年度1億9,400万円、650年度1億9,400万円、651年度1億9,400万円、652年度1億9,400万円、653年度1億9,400万円、654年度1億9,400万円、655年度1億9,400万円、656年度1億9,400万円、657年度1億9,400万円、658年度1億9,400万円、659年度1億9,400万円、660年度1億9,400万円、661年度1億9,400万円、662年度1億9,400万円、663年度1億9,400万円、664年度1億9,400万円、665年度1億9,400万円、666年度1億9,400万円、667年度1億9,400万円、668年度1億9,400万円、669年度1億9,400万円、670年度1億9,400万円、671年度1億9,400万円、672年度1億9,400万円、673年度1億9,400万円、674年度1億9,400万円、675年度1億9,400万円、676年度1億9,400万円、677年度1億9,400万円、678年度1億9,400万円、679年度1億9,400万円、680年度1億9,400万円、681年度1億9,400万円、682年度1億9,400万円、683年度1億9,400万円、684年度1億9,400万円、685年度1億9,400万円、686年度1億9,400万円、687年度1億9,400万円、688年度1億9,400万円、689年度1億9,400万円、690年度1億9,400万円、691年度1億9,400万円、692年度1億9,400万円、693年度1億9,400万円、694年度1億9,400万円、695年度1億9,400万円、696年度1億9,400万円、697年度1億9,400万円、698年度1億9,400万円、699年度1億9,400万円、700年度1億9,400万円、701年度1億9,400万円、702年度1億9,400万円、703年度1億9,400万円、704年度1億9,400万円、705年度1億9,400万円、706年度1億9,400万円、707年度1億9,400万円、708年度1億9,400万円、709年度1億9,400万円、710年度1億9,400万円、711年度1億9,400万円、712年度1億9,400万円、713年度1億9,400万円、714年度1億9,400万円、715年度1億9,400万円、716年度1億9,400万円、717年度1億9,400万円、718年度1億9,400万円、719年度1億9,400万円、720年度1億9,400万円、721年度1億9,400万円、722年度1億9,400万円、723年度1億9,400万円、724年度1億9,400万円、725年度1億9,400万円、726年度1億9,400万円、727年度1億9,400万円、728年度1億9,400万円、729年度1億9,400万円、730年度1億9,400万円、731年度1億9,400万円、732年度1億9,400万円、733年度1億9,400万円、734年度1億9,400万円、735年度1億9,400万円、736年度1億9,400万円、737年度1億9,400万円、738年度1億9,400万円、739年度1億9,400万円、740年度1億9,400万円、741年度1億9,400万円、742年度1億9,400万円、743年度1億9,400万円、744年度1億9,400万円、745年度1億9,400万円、746年度1億9,400万円、747年度1億9,400万円、748年度1億9,400万円、749年度1億9,400万円、750年度1億9,400万円、751年度1億9,400万円、752年度1億9,400万円、753年度1億9,400万円、754年度1億9,400万円、755年度1億9,400万円、756年度1億9,400万円、757年度1億9,400万円、758年度1億9,400万円、759年度1億9,400万円、760年度1億9,400万円、761年度1億9,400万円、762年度1億9,400万円、763年度1億9,400万円、764年度1億9,400万円、765年度1億9,400万円、766年度1億9,400万円、767年度1億9,400万円、768年度1億9,400万円、769年度1億9,400万円、770年度1億9,400万円、771年度1億9,400万円、772年度1億9,400万円、773年度1億9,400万円、774年度1億9,400万円、775年度1億9,400万円、776年度1億9,400万円、777年度1億9,400万円、778年度1億9,400万円、779年度1億9,400万円、780年度1億9,400万円、781年度1億9,400万円、782年度1億9,400万円、783年度1億9,400万円、784年度1億9,400万円、785年度1億9,400万円、786年度1億9,400万円、787年度1億9,400万円、788年度1億9,400万円、789年度1億9,400万円、790年度1億9,400万円、791年度1億9,400万円、792年度1億9,400万円、793年度1億9,400万円、794年度1億9,400万円、795年度1億9,400万円、796年度1億9,400万円、797年度1億9,400万円、798年度1億9,400万円、799年度1億9,400万円、800年度1億9,400万円、801年度1億9,400万円、802年度1億9,400万円、803年度1億9,400万円、804年度1億9,400万円、805年度1億9,400万円、806年度1億9,400万円、807年度1億9,400万円、808年度1億9,400万円、809年度1億9,400万円、810年度1億9,400万円、



**問** 企業進出の見通しが無いのに予算執行すべきでない

**答** 広域交通ネットワークの達成を目指す

竹尾 忠雄 議員

**問** 南部開発とアクセス道路について協定書では、区画整理事業地内の道路は都市再生機構（UR）が負担するとなつていますが、企業進出がなく事業認可されなくても、道路はURが作るという約束なのか。約束がなければ、県道墨・七栄線に接続することのない行き止まりの四車線となり、町長の言う「広域交通ネットワークの構築」にはならないのではないか。また、平成19年度予算の用地買収費1億5,000万円は執行すべきではないと思う。税金の無駄遣いではないか。

**町長** 現在、URでは事業者の決定に向けて鋭意努力しているところであり、その結果によってURから協議があると思う。

アクセス道路はIC関連事業であり、県との費用負担もあることから事業を進めている。昭和60年から周辺7市町による期成同盟をつくり、IC設置促進を行い、正に広域交通ネットワークの達成を目指している。

**中川治水対策について**

**問** 町長は、京成路線下の拡幅はやら

ない理由として「工期の長期化と多額の費用が必要となる」と説明したが、一度も京成と協議していないので、調節池の方が安いとは言えないと思う。調節池の事業費、工期について。また、設置後の年間維持管理費、調節池設置による効果についても併せて伺う。河川改修は下流（京成路線下拡幅）から整備するのが、住民の合意が得られる道だと思うが如何か。

**町長** 調節池の工期はまちづくり交付金事業の期間である平成22年度までに完成させたい。また事業費は作業数値約6億円としており、更なる事業費の精査と縮減に努める。具体的な効果としては、平成8年、平成13年の降水量に対応でき、平成16年の洪水に対しては、床上浸水18戸から8戸へ、床下浸水は半減するものと把握している。

洪水のピーク部分の対応は調節池が経済的であり、河道改修は一連の区間が完成しないと効果を発揮しないが、調節池は単一施設完成で相応の効果を発揮する。また貴重な都市空間を多目的利用することができるなどがある。

**問** 就学援助の充実を図るべきではないか

**答** 本年度多方面から検討し、適正と思われる新基準を設定した

地福 美枝子 議員

**問** 負担軽減措置について伺う。

1、要介護認定者が障害者控除を受けるには町が発行する認定書が必要となる。その認定書に関して周知徹底を図るためには、すべての要介護認定者にお知らせ文を送付すべきと思うが如何か。

2、就学援助の受給できる収入の目安を増額し、申請の仕方、補助の内容などのお知らせ文を、小中学生の保護者すべてに配布すべきではないか。

**福祉課長**

1、周知については、確定申告のはじまる2月に、町の広報紙に掲載して、周知の徹底を図っているところである。

**学校教育課長**

2、所得指数の引き上げについては、本年度多方面から検討し、適正と思われる新基準を設定したことから、当面は現行で運用する。周知方法については、ホームページへの掲載の他、新入学時の説明、個別相談を実施しているが、さらに文書による保

護者への周知も行う方向で検討する。

**後期高齢者医療制度について**

**問** 低所得者が支払うには困難な状況と把握しているのが、地元自治体であると思う。このような町民に対し、町としての補助、援助の手を差し伸べる必要があると思うが如何か。徴収困難で、高齢者を追い詰める、この制度に対し、国や県に意見をすることこそ、町民の健康と暮らしを守る自治体の行うべきことと考えるが町長の考えを伺う。

**町長** 低所得の方には、保険料の軽減措置があり、軽減分は公費で賄うこととなっている。また、災害を受けたり収入が著しく減少した場合などは、減免制度があり、独自の補助制度は考えていない。国や県への意見については、財政支援など、1都3県の広域連合が連携して、国へ要望書を提出している。町としては、必要に応じて、広域連合を通じて対応していきたいと考えている。

問 町民の暮らしを守る予算編成を

答 福祉の向上を目指した事業をできる限り実施していきたい

岩澤 正 議員

問 平成20年度予算編成方針は、前年度と同様の各課単位の枠配分方式とするとのことだが、平成19年度と同様に

使用料、利用料の値上げ、補助金の削減を進めるのか伺う。また、国民健康保険税、介護保険料の算定、乳幼児医療費の拡充について、どのように考えているのか伺う。

町長 住民の暮らしを守り、福祉の向上を目指した健康、生涯学習などを中心としたまちづくり事業をできる限り実施していきたい。

参事 平成20年度の国民健康保険税、介護保険料については、現行のとおりと考えている。

こども課長 乳幼児医療費の拡充については努力していきたい。

南部地区開発について

問 7億円の税収を期待した2千万人集客の企業は来なくなった。町は財源確保、雇用の拡大、地域経済の活性化になると説明してきたが、見通しがつかなくなった責任について伺う。また、アクセス道路整備を進めるのではなく、地権者を守り、町民の合意を得る

ため、新たな計画をたてるべきと考えるが如何か。

町長 町としては、地域の活性化や安定的な住民サービスの提供のために、将来を見据えた中長期的視点に立ち、まちづくりを進めていく必要がある。URが進める酒々井南部地区新産業団地については、既定の都市計画の方針に基づき対応していきたいと考えている。

町の活性化について

問 入札に参加できない町内の小規模事業者の受注機会の拡大を図るために、「小規模事業者登録制度」の実施について、町の考えを伺う。また、「観光ナビゲーションシステム」の中に、希望する農家の情報や商工業等の情報を取り入れては如何か。

町長 小規模事業者登録制度については、商工会からも要望があることから、検討していきたい。また観光ナビゲーションシステムへの農家情報等の取り入れについては、今後検討していきたい。

その他の質問

御園生浩士 議員

- ・ 聖域なき行財政改革について
- ・ 高齢者の雇用問題について
- ・ 酒々井IC事業の進捗状況について
- ・ 南部地区新産業団地事業について
- ・ 歩き・み・ふれる歴史の道 in 酒々井について

引地修一 議員

- ・ 平成19年度酒々井の町づくりについて

平澤昭敏 議員

- ・ ゴミ問題について

佐藤修二 議員

- ・ 酒々井小学校体育館建設について
- ・ 「しすいの水」について

齊藤 博 議員

- ・ 遊休の町有地の活用について
- ・ 町長の給与改定について

竹尾忠雄 議員

- ・ 農業問題について
- ・ 町有財産の処分と管理について
- ・ 住民の願いにどう応えるのか

地福美枝子 議員

- ・ 保育園の状況について
- ・ こどもプランについて
- ・ 新設のこども課の現状について



## 委員会の視察について



経済建設常任委員会（調節池予定地）



教育民生常任委員会（乳幼児保育室の増設予定地）

12月定例会会期中の6日に開催された経済建設常任委員会では、委員会終了後、中川流域の治水対策として、浸水被害のあった区間の嵩上げ工事箇所や上岩橋地区の調節池予定地、並びに県が管理している宗吾機場施設をそれぞれ視察しました。

また、7日に開催された教育民生常任委員会では、委員会終了後、岩橋保育園の乳幼児保育室の増設予定地、並びに大室台小学校内で1月から開設される放課後児童クラブ（学童保育）の教室をそれぞれ視察しました。



1月29日に岐阜県関市議会の総合交通に関する調査特別委員会の委員8名が巡回・デマンド複合型新総合交通システム事業「しすいふれ愛タクシー」について視察するため来町しました。車両配車システムなど熱心に視察されました。

### 「しすいふれ愛タクシー」の取り組みについて 岐阜県関市議会が視察来町

### 議会のことば

議会だよりでは、よりわかりやすく、読みやすい紙面を目指しています。その一環として「議会のしくみ」や「議会のことば」などを随時、紹介しています。

そこで、今回は、「議会のことば」の一つ、「みなし採択」について紹介します。

議会にはいくつかの諸原則があります。その中に「一事不再議の原則」というものがあり、「いったん議決された事件を同一会期中にこれを審議することができない」というもので、議事の非効率及び2つの意思を存在させないという観点からこのような原則があります。

この原則に従いますと、先に「可決（採択）」された後の同一目的（同一趣旨・同一内容）の事件は、議決をすることができません。

今定例会に提出された請願第6号、請願第7号及び請願第8号の目的（趣旨・内容）は同一であることから、はじめに請願第6号について議決をし、その

結果「採択」となりましたので、請願第7号及び請願第8号について議決不要とし、「みなし採択」として議事を進めました。

なお、この「みなし採択」とは議会用語ですので、結果としては「採択」されたものとして、先の請願と同様に取り扱います。

## 3月定例会のお知らせ

次の定例会は3月上旬に開会する予定となっております。

会期の概要は、2月25日の議会運営委員会で決まります。会期などについては、議会運営委員会の開催日以降、議会事務局までお問い合わせください。

なお、会期の概要が決定しましたら、町議会のホームページやポスターでもお知らせいたしますのでご覧ください。

皆様の傍聴をお待ちしています。

詳しくは議会事務局まで。

☎ 496-1171

（内線251、252）